

平成30年10月5日

グローバル・チャレンジ・プログラム 海外留学報告書

標記について、下記のとおり報告します。

記

○基本情報

氏名	國學太郎	所属	経済 学部 経営 学科 2 年
学籍番号	XXXXXX	留学期間	平成 30 年 8 月 ~ 平成 30 年 9 月
留学先 国・地域	アイルランド	留学先(学校)	Dublin City University Language Services

○報告内容

1. 留学前準備について(留学に参加した理由、留学の目的・目標 等) ※300字以上
<p>私は、中学、高校、大学と英語を学んできましたが、「今まで英語を使わなければならない」状況には身をおいたことはありませんでした。そこで、まずはCommunication体験を積むことができる機会を求めて短期留学への参加を決めました。</p> <p>アイルランドについては、歴史で学んだジャガイモ飢饉以外には知識がありませんでした。だからこそ、先入観なく言葉を学び、文化に触れることができると思いダブリンでのプログラムを選んだのです。</p> <p>私は更に長い留学に挑戦すべきかを悩んでいました。留学が、自分にとって、大学生活で使うことができる時間とお金を投資する対象となれるかどうか自分がわかりませんでした。これからの、大学生活、人生の進み方をきめるためにも短期留学参加が必要でした。</p>
2. 留学中に心がけたこと、努力したこと(授業、日常生活、留学中の活動 等) ※300字以上
<p>「興味があるよ」「好きだよ」という態度をいつも見せていくというのが私が心がけたことです。</p> <p>留学中はSmithさんの家にホームステイしました。ホームステイさえすれば、テレビで見たことあるような「コミュニケーションにあふれる」留学生活ができると思ったのですが、そのようなことはありませんでした。ホストファーザーもホストマザーも親切で、私が必要とすることを先回りして準備してくれたのですが、お二人とも職業を持っており団欒の時間は限られていました。そこで、そこで、私もホストマザーも帰宅が比較的早かった日は、私はできるだけ、キッチンで過ごすようにして、時には食事の準備を手伝いながら、家族のこと、仕事のこと、学校のことを話すようにしました。また、できるだけダブリンやアイルランドのことを好きになるようにして、たくさん質問するようにしました。4週間後にはすっかり打ち解けることができ、日本の母にも話したことがないようなことも、相談することもありました。</p>
3. 留学の成果について(留学の目的・目標の達成具合、新たに発見したこと、感じたこと 等) ※300字以上
<p>私の留学の成果で最も大きかったことは、自分のアイデンティティを意識できるようになったことかもしれません。</p> <p>私は、國學家で暮らし、千葉県に住み、國學院大學で学んでいます。また、生まれてからこれまで、旅行を除けば日本から出たことはありませんでした。この環境が当たり前のことに思えていましたが、自分が所属している数々のグループが自分のアイデンティティだと感じる事ができたのです。</p> <p>この留学に参加する前は「アイデンティティ」という言葉を理解できていなかったかもしれません。教室の中でスペインや中国からの留学生と話をすることで、自分の考え方を意識するようになったし、Smith家で暮らしたことで國學家を客観的に捉えられるようになったと思います。今回の経験を通じて、日本や自分の環境が好きになったし、自分と違うグループに属する人たちの考え方への興味が増したと思います。</p>
4. 留学で学んだことを今後、どのように活かしたいか ※300字以上
<p>留学に参加する前は、海外の人と接することがとても特別なことのように思えたが、今ではそのようなことはありません。残念ながら、まだ英語を使って自由に自分の意思を伝えられるほどのコミュニケーション力はないですが、少なくとも気後れすることはなくなったと思います。</p> <p>今後、この留学を活かすために次のような目標を定めました。</p> <ol style="list-style-type: none">①英語の勉強を継続して、来年の3月までにTOEIC650を達成する。②11月までに次の留学の計画を立てて、家族を含む関係者にそれを伝える。③Smith家の人々を含め、今回の留学で知り合った人との繋がりを今後10年間切らないように、メッセージを送り続ける。④渋谷駅周辺で、迷っているらしい外国人観光客を見つけたら、とりあえず”May I help you?”と話しかける。

氏名	國學太郎	所属	経済 学部 経営 学科 2 年
学籍番号	XXXXXX	留学期間	平成 30 年 8 月 ~ 平成 30 年 9 月
留学先国・地域	アイルランド	留学先(学校)	Dublin City University Language Services

5. 留学中の画像(お気に入りのスナップ) ※Excelの「挿入」メニューから「画像」をクリックし、挿入する画像を選択・挿入してください。



写真の説明① DCUのキャンパス



写真の説明② 毎日使ったDublinのパスモ(Leap Card)



写真の説明③ Smithさんのお宅



写真の説明④ 学食での昼食。約6ユーロ。

6. 外国語での記述欄(留学先国・地域の言語で、留学中の生活、成果等について、自由にご記入ください。)※英語の場合、150単語以上

The purpose of my study-abroad in Dublin was to enhance the communication skills in English. Looking back, I think the goal was reached to some extent, but I have learned something more important, which is the meaning of identity.

Before joining this programme, I was not aware of the actual meaning of identity because it was just natural to me that I am a Japanese, a member of Kokugaku family, and a Kokugakuin student. Staying away from the environment that I am familiar with and experienced the life in Dublin, I realized how comfortable the life in Japan is. Now I can fully appreciate the language, culture and norms around me. As well, my interest in different culture grew bigger.

Now I have made up my mind to seek the possibility to join another study abroad programme, which is longer and more difficult to complete Wish me luck, everyone.

7. その他(自由記述)

○学生署名欄(自筆): **國學 太郎**

※ 報告書は、上記の1~6の内容をすべて満たせば、自由な書式で作成しても構いません。(全体で1200字以上)
 ※ この報告書の記入内容は、Webページ、印刷物に転載され、これから留学を検討する学生の参考資料として使用する可能性があります。